

日々となりました。
前会長の突然の逝去にともない、急ぎよ私が会長代行を務めることになりました。このことによつて、同窓会活動が停滞することはないようしつかり補つていただきたいと思います。

さて、母校はセミナー棟も完成し、いよいよ単位制進学校としてスタート致しました。昨今、大学進学率は他校の追上げ、時代の変化等により思うように進めませんが、この期をとらえ、進化躍進されることを期待しております。

当同窓会につきましては、

同窓会長代行 飯塚 隆司
(高五回卒)

明日へ向かつてのステップ

毎年三百有余名の新規会員を迎へ、また次年度は新会長が選出される予定であり、より一層充実した組織として成長してまいります。又本年は会則を系統別に整理し、特に支部長会につきましては、より具体的になります。会員皆様のご意見、御賛同を得たいと思っております。

会員皆様が、先を見つめ足早に走りぬけて行こうとすることは、時代に遅れまいとする自然な気持ちだと思います。が、ほつとしたつかの間、通り過ぎし学び舎を振り返り、仲間との絆を思い出して欲しいと思います。お互い、縁あつて面識を得たということは、何にも増して力強い支えであります。お互い、活動の原動力であります。各界へ飛躍している同窓生の皆さん、いつの世も、根底に流れているのは不変であると信じ、堅実に駒を進め欲しいと思います。

皆様のご多幸を祈ります。

柏陵

平成25年度
本部役員

題字 相川徳平(旧中1回卒)
発行 県立本庄高校同窓会
会長代行 飯塚隆司
事務所 〒367-0025
本庄市西五十子354-1
TEL 0495(24)2502
印刷 (有)本庄出版社

評議員	顧問	幹監	監	監	会	会	副会長																				
評議員	評議員	評議員	評議員	評議員	幹事	監事	監事	計画	計画	会計																	
評議員	評議員	評議員	評議員	評議員	志塚	川田	新井	黒沢	菅野	佐々木	茂木	白本	丸山	山口	富田	飯塚											
評議員	評議員	評議員	評議員	評議員	秋谷																						
評議員	評議員	評議員	評議員	評議員	和彦																						
評議員	評議員	評議員	評議員	評議員	(定時制教頭)																						
評議員	評議員	評議員	評議員	評議員	戸谷	志塚	川田	新井	黒沢	菅野	佐々木	茂木	白本	丸山	山口	富田	飯塚										
評議員	評議員	評議員	評議員	評議員	塚越	塚越																					
評議員	評議員	評議員	評議員	評議員	内野ヨシエ	内野ヨシエ																					
評議員	評議員	評議員	評議員	評議員	泰昌	泰昌																					
評議員	評議員	評議員	評議員	評議員	吉雄	吉雄																					
評議員	評議員	評議員	評議員	評議員	延	延	延	延	延	延	延	延	延	延	延	延	延	延	延	延	延	延	延	延	延	延	延
評議員	評議員	評議員	評議員	評議員	正人	正人																					
評議員	評議員	評議員	評議員	評議員	正人	正人																					
評議員	評議員	評議員	評議員	評議員	正人	正人																					
評議員	評議員	評議員	評議員	評議員	正人	正人																					
評議員	評議員	評議員	評議員	評議員	正人	正人																					
評議員	評議員	評議員	評議員	評議員	正人	正人																					
評議員	評議員	評議員	評議員	評議員	正人	正人																					
評議員	評議員	評議員	評議員	評議員	正人	正人																					
評議員	評議員	評議員	評議員	評議員	正人	正人																					
評議員	評議員	評議員	評議員	評議員	正人	正人																					
評議員	評議員	評議員	評議員	評議員	正人	正人																					
評議員	評議員	評議員	評議員	評議員	正人	正人																					
評議員	評議員	評議員	評議員	評議員	正人	正人																					
評議員	評議員	評議員	評議員	評議員	正人	正人																					
評議員	評議員	評議員	評議員	評議員	正人	正人																					
評議員	評議員	評議員	評議員	評議員	正人	正人																					
評議員	評議員	評議員	評議員	評議員	正人	正人																					
評議員	評議員	評議員	評議員	評議員	正人	正人																					
評議員	評議員	評議員	評議員	評議員	正人	正人																					
評議員	評議員	評議員	評議員	評議員	正人	正人																					
評議員	評議員	評議員	評議員	評議員	正人	正人																					
評議員	評議員	評議員	評議員	評議員	正人	正人																					
評議員	評議員	評議員	評議員	評議員	正人	正人																					
評議員	評議員	評議員	評議員	評議員	正人	正人																					
評議員	評議員	評議員	評議員	評議員	正人	正人																					
評議員	評議員	評議員	評議員	評議員	正人	正人																					
評議員	評議員	評議員	評議員	評議員	正人	正人																					
評議員	評議員	評議員	評議員	評議員	正人	正人																					
評議員	評議員	評議員	評議員	評議員	正人	正人																					
評議員	評議員	評議員	評議員	評議員	正人	正人																					
評議員	評議員	評議員	評議員	評議員	正人	正人																					
評議員	評議員	評議員	評議員	評議員	正人	正人																					
評議員	評議員	評議員	評議員	評議員	正人	正人																					
評議員	評議員	評議員	評議員	評議員	正人	正人																					
評議員	評議員	評議員	評議員	評議員	正人	正人																					
評議員	評議員	評議員	評議員	評議員	正人	正人	正人	正人																			

伝統と躍進

校長 塙岡正人



昨年は、創立九十周年記念、本庄北高校との統合及び進学重視型単位制としてのスタート準備等、慌ただしい一年でしたが、関係各位、また同窓会の皆様方のご支援のおかげで、無事今年度を迎えることができました。この場をお借りし改めて御礼申し上げます。単位制について、全体制でのみの変更ですが、玄関上には、「高い目標に向かってチャレンジ!」「伝統と躍進」の二本の垂れ幕を掲げ改革を進めております。曖昧だつた教育目標を「自主自律の精神を育み、知識・徳・体の調和のとれた教育を行う」と確認し、目指す学校像を「個性を伸ばし、世界にはばたく人材を育成する地域に信頼される学校」とし、更なる発展を目指し取り組んでおります。具体的には、

高校 熊谷女子高校、来年三月には児玉高校の定時制が閉課程となり、本庄・深谷地区では、本校が唯一の定時制高校となります。定期教育の使命を十分認識し、を目指す学校像である「生徒一人ひとりを大切にし、知・徳・体の調和のとれた教育を行う」をさらに実践していく所存です。

昨年度は、同窓会のご厚意により本庄ケーブルテレビに加入し、学校の様子を市民ニュース等で度々取り上げていただきました。また、情報管理部を中心に見やすいHPづくりにも取り組み、積極的な情報発信を中心掛けております。

ケーブルテレビやHPもいいのですが、やはり実際に母校にお越しいただき、後輩たちへ熱いエールを送つていただけたら有り難いと思つております。

授業を実施（現在県内県立高校では、十四校で実施）
②特進クラスの設置
③制服の復活（微妙なデザインの変更はありますが、なんとか以前と同じ詰め襟学生服、セーラー服の着用）等があげられます。が、なんとも、生徒・教職員のチャレンジする意識の高まりが一番の変容だと感じております。

四十年ぶりの

関東大会出場

男子バレー部顧問
戸井田 猛

ました。生徒の落ち着いたプレーでストレート勝ちしました。続く二回戦は、茨城県の優勝校土浦日大高校との対戦でした。一セットの目を先取したものの、残念ながらフルセットの末に敗れました。しかし、その戦いぶりは堂々としており、四十年ぶりとなるこの晴れの舞台で、本庄高校生の気概を関東に示すことができました。

国民体育大会への出場を決めました。男子バレー部としては、勿論初の全国大会出場選手となります。

五年前にも秋山大地君という有能な選手がおりましたが、その時は残念ながら埼玉県選抜選手に選んでいただけず大変残念に思つたものです。しかし今回、埼玉原君が国体出場を果たし、念願の想いがかないました。

これまで同窓会並びに同窓生の皆様から、多大なるご支援をいただいてまいりました。この場をおかりしました。そして感謝申し上げます。

本当にご声援ありがとうございました。また、今後とも、是非、男子バレーボール部をよろしくお願ひいたします。

関東ジュニア柔道選手権大会出場

柔道部顧問
浅岡一志

ちなみに、関東大会の開会式では、本庄高校の吹奏楽部が式典のすべての曲を担当し、大会関係者からたくさんのお称賛の言葉をいただきました。これも本庄高校の誇りです。



柔道部は、現在三年生二名、二年生三名、一年生三名の計八名で活動しています。少ない人数ですが、毎日の練習を高い意識で意欲的に取り組んでいます。柔道部の目標は、団体戦で関東大会出場、個人戦では全国大会出場を目指しています。

対戦し、後半、互いに疲れが出てきた所で嶋田選手が掛け勝負にまで大外刈りを掛け勝負にまでした。相手も必死に返しきましたが、強気に小外刈りに切り返し「一本」で勝利しました。

嶋田選手の勝ちたいという気持ちが相手より上回つていたのだと思います。気持ちの入ったとても良い試合でした。

決勝戦の相手は、埼玉大学の二年生です。勝つても

第六回 誓約の日 勝利によがれ

だと痛感しました。春に負けて、その後、私も生徒も本当に苦悩の日々でした。でも、あの「あし」の一歩の悔しさを忘れず自分の甘さを課題に取り組みました。

七月七日埼玉県ジュニア柔道体重別選手権大会一〇〇kg級に、二年生の嶋田凌也選手が出席しました。この試合に出席できること選手は限定されており、インターハイ県予選のベスト8以上の高校生及び二十歳以下の大學生・社会人、それと推薦された選手のみで、今年の出場者は、計十一名でした。

嶋田選手は、二回戦から出場し、インターハイ県予選三位の選手を相手に粘り勝ちし、準決勝に駒を進めました。対戦相手は、平成国際大学二年生で、高校時代には全国大会出場の経験がある選手です。試合では気後れすることなく堂々

負けても最後の試合。強気でいきましたが、力及ばず体落として一本負けでした。しかし、結果は準優勝で、関東ジュニア柔道体重別選手権大会への出場権を得ることができました。

関東大会では、神奈川県の名門桐蔭学園の選手と対戦しました。経験の差、力の差、そして今までにない会場の雰囲気に、力を出し切れないまま一本負けしてしまいました。しかし、この経験、この悔しさは必ず次につながるものだと信じています。

今回、嶋田選手が関東大会に出場できたのは、本人の努力はもちろんですが、一緒に汗を流し努力した他の七名の部員の力があつてのものだと思います。ただいる同窓会、校長をはじめ学校関係者、保護者の皆様のご理解とご協力のおかげです。心より感謝申し上げます。

これからも部員一同、高い目標に向かってチャレンジし、更に精進してまいりますので、今後とも柔道部へのご支援の程、よろしくお願い申し上げます。



埼玉県定時制通信制生徒生活動発表会で、『生きがい』をテーマに、七十年を超える自らの人生を振り返り、若者にエールをおくるスピーチを行いました。その志を継いだ茂木貴志さんの発表が十月に行われました。また、今年度の柏樹祭では、これまでになくバラエティに富んだ展示・販売を行いました。給食で出した廃油を利用した手作り石けんの他、本校マスコット『ほんなん』をモチーフにした缶バッジ、天文同好会の『星座のしおり』や有志の『ストーンアート』の販売・体験などもありました。非常勤講師の先生も増え、外部の教育力も活用し、本庄高校定時制は、元気です。

今回のセンター試験は、年ぶりに難化に転じ、全体的な平均点(九〇〇点満点)は、文系が五四〇点、理系が五六六点となり、前年と比較して文系は四一点、理系は三五点と、文理ともに平均点がダウンしました。(駿台・ネッセ調べ)。その結果弱気な出願をするか、国公立大学への出願を諦め、中堅レベルの私立大学へ変更した受験生が例年より多くなりました。

本校でも影響は大きかつたと思われます。センター受験者は一七六名で例年とかわりませんが、自己採点の結果、出願を変更した者が例年より多かったようですが、後期試験をあきらめた生徒が例年より多かつたようです。また、センター利用の私立大学受験でも難関大学をあきらめ、中堅大学をめざす傾向がみられました。

二、国公立大学

国公立大でも理系人気が継続してみられます。学部別の傾向では工学部や医学をあきらめ、中堅大学をめざす傾向がみられました。

三、私立大学

難関大学(早慶や MAR CH)の志願者数はほぼ前年並み、成蹊・成城・武藏は減少、日大・東洋・東海などで増加がみられました。これは難関校へ出願はするが、浪人を避けるために下位大学への「安全志向」出願者が多かつたためと思われます。また、理科大や芝浦・工学院など理系大学は大幅に増加しています。

四、その他

浪人生が五名でした。合格者の多い大学は大東文化大五名、東洋大四名、東京家政大一八名、帝京大十四名、日本大・獨協大一三名などです。主要大学では役生十七名(公募制推薦等)、合計二十名となり、内訳は群馬大五名・山形大三名、合計二十六名です。また、群馬県立女子大はAO入試で合格しています。

進路状況

過去5年間の進学実績の変化

	平成21年度入試		平成22年度入試		平成23年度入試		平成24年度入試		平成25年度入試	
	現役	浪人								
国公立4年制大学	9	3	8	3	15	3	9	5	16	3
私立4年制大学	175	23	189	28	163	28	196	16	175	19
私立短期大学	28	0	17	0	20	2	26	0	22	1
専門学校	63	0	64	2	81	1	53	0	79	4
公務員・就職	8	0	4	1	5	0	9	0	6	1
卒業者数	325	26	325	34	320	32	325	21	323	28
4年制大学進学者	184	-	197	-	178	-	205	-	191	-
4年制大学進学率	56.3%	-	60.6%	-	55.6%	-	63.1%	-	59.1%	-
浪人他	44	-	43	-	36	-	30	-	25	-
浪人率%	13.5%	-	13.5%	-	11.3%	-	9.2%	-	7.7%	-

標に向かつてチャレンジぜひこの精神を忘れないでほしいと思います。

四、その他の進路

短期大学は合格者二八名、不合格者二一名でした。主要大学では指定校やAO入試を見直す傾向にあり、下位大学で推薦入試が増加しています。受験を早く終わらせたい、勉強したくないという理由で、一般受験でも楽に合格できそうな大学へ安易に推薦やAOで応募してしまう傾向があります。「高い目

今年度は大学受験が思わずなく、専門学校へ進路変更した生徒が多かつたようです。就職者は六名でした。

